



はじめの一步

教室ブログ更新中(<http://onestep-mtj.com/>)

vol.138

中学校の通知表、どう変わった？

通知表は2021年から「主体的に学習に取り組む態度（主体性）」、「思考・判断・表現」、「知識・技能」の3観点に変わっています。「関心・意欲・態度」が「主体的に学習に取り組む態度」という言葉でまとめられていますが、自ら学ぶ姿勢が大切なのに変わりはありません。注目すべきは「知識・理解」⇒「知識・技能」に変わっている点。これは、知識は単に覚えているだけのものではなく、技能として活用できるようになって初めて理解できるという考え方からきています。

どうすれば評価が上がる？



その3つの観点ですが、何をすれば評価が上がるのか一つずつ見ていきましょう。

主体的に学習に取り組む態度では「提出物を期限までに出す」／「積極的に挙手や発言をする」／「教壇（黒板）で問題を解くこと」などで評価。テスト前にノートの提出を求められることがあります。このノートの取り方にもしっかりと評価の目安があります。

- 板書がきちんと写してあり自分なりの工夫・資料の整理がしてある . . . A
- 板書を半分程度写しているが一部記入していない . . . B
- 板書をほとんど写していない・全くやっていない・または未提出 . . . C

思考・判断・表現では「テストの記述式問題」／「調べ学習やグループワーク」などで評価します。特に、資料やグラフから読み解くような問題では決まった答えがあるわけではないので、暗記だけでは答えることが出来ません。授業で取り扱った本質的なものを理解し、自分の言葉で表現することが評価を上げることにつながります。また調べ学習ではレポートを書きますが、ノート同様こちらにも評価の目安があります。

- 調べた内容について自分なりの分析や考えを書いている . . . A
- 調べた内容について説明してある . . . B
- ほとんど何も書かれていない、または未提出 . . . C

知識・技能では「テストや小テストの数値」による評価が主となります。手元にテストを用意して、問題あるいは解答用紙に「知技」と書かれた欄がないか見てみましょう。漢字・計算問題・重要語句などを答えるといった問題に「知技」がついているはず。つまり、「英単語を覚える」／「公式を覚え、それを活用する」／「漢字の読み書きを出来るようにする」などの基本を身につけることが評価につながるということです。

通知表は、学校（先生）から皆さんへのメッセージです。

正しく読み取り、評価のポイントを理解すれば、2学期以降の授業態度や取り組みも変わってくるはず。まずはノートの取り方を意識してみる、レポートのまとめ方に注意してみるところから取り組んでみましょう♪



ごあいさつ

こんにちは！ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。

未来を作る子どもたちが、自分自身の目標を持って前に進む姿を、保護者様と一緒に見守り、時に悩み、時に笑い、共に喜ぶ。心を寄せて子どもたちの成長を導いていくことが私たちの務めだと思っています。

教室を開校して15年が経ちおかげさまで、兄弟姉妹でお通いいただき、ご家族とも長いお付き合いをさせていただけるようになりました。これまでのたくさんのお出会いに感謝し、お礼の気持ちをこの地域に還元したいと、教育情報誌をお配りしております。小さい塾なので、大きなことはできませんが、小さなことこそ大切にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。